



## 新庄病院の大震災への対応

3月11日の大震災により被害を受けた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

新庄病院では、平成9年度に耐震補強工事が完了しており、直接的な被害はありませんでした。当院では、震災直後から、災害対策本部を設置し、350人の入院の方々の安全の確保、急患患者の受け入れ等に万全を期しました。

しかし、大震災直後からの停電時には、非常用電源による電力供給で必要最小限の病院機能を維持していたため、照明やエレベータ稼働の制限等を行うこととなりました。また、その後の物流の混乱で、管内の調剤薬局が十分な薬品を確保できなかったため、薬の処方を14日に制限するなど、御利用のみなさまに御迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

現在も計画停電を回避するための節電の取り組みを行っており、御不便をおかけしておりますが、御理解と御協力をよろしくお願い致します。

この大震災に関連して、181人の患者が当院に来院され、うち22人の方が入院されました。このうち県外被災者の方は144人で、うち9人の方が入院されました。このほか、被災地からの分娩受入れが27人ありました。

さらに、地震直後の11日から仙台市へDMAT（災害派遣医療チーム）として医師2名を含む6名を派遣し、被災直後の医療活動に当たったのをはじめ、医療救護班として避難所での巡回診療を行うなど、これまで合わせて5回の被災地への医療救護活動を行っています。

今後は、今回の反省点を踏まえて、より災害に強い病院として地域のみなさんに安心していただけるよう、必要な改善・整備を進めていきます。また、被災地への支援についても、引き続きさまざまな形で取り組んでいくこととしています。



### 【東日本大震災に係る当院のこれまでの医療支援活動状況】

日 程	派遣チーム	場 所
3月11日～4月14日	DMAT	宮城県仙台市
3月28日～4月 1日	医療救護班	岩手県宮古市
4月11日～4月13日	日赤救護班	福島県会津若松市
4月29日～5月 3日	医療救護班	宮城県気仙沼市
5月11日～5月13日	日赤救護班	福島県会津若松市



# 6病棟を開棟しました



4月1日に、大規模改修により平成17年度から休止していた6病棟を、40床の亜急性期病棟として開棟しました。

6病棟では、急性期の治療が終了しても退院後の生活に不安を抱える患者の方に対して、個人ごとのペースに合わせ、これまでの治療に加え、医療支援機器の使い方や服薬の指導、リハビリ訓練等を、主治医や看護師、理学療法士、臨床工学技士等がチームで行うことによって、在宅等への復帰を支援していきます。



## 研修医 の紹介

—その9—



今回、北九州の地より、新庄に来ました研修医の篠原周一と申します。

新庄に来てまだ日が浅いですが、ここの土地の人は皆親切で、温かさを感じております。まだまだ何もできない新米医師ではありますが、精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、地域の方、先生方、事務の方、御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 認定看護師紹介

6ヶ月間の日本看護協会神戸研修センター感染管理認定看護師教育課程の研修を経て、認定審査に合格し平成23年6月、感染管理認定看護師になることができました。

感染管理認定看護師の主な仕事は、他職種と感染制御チームを組織し、週1回の院内ラウンド、新規MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）発生患者や結核疑い患者、その他の院内感染発生時の感染対策状況の把握と相談、指導等をしていきます。医療関連感染から患者・家族・職員を守ることを常に念頭に置き、援助させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

（感染管理認定看護師 大類里美）



# 七夕まつりが行われました

7月15日毎年恒例の七夕まつりが行われました。

今回はNPO法人芸術文化ネットワーク新庄さんの全面的なご協力により大道芸人のクラウトムさんを迎え、風船パフォーマンスやジャグリングなどを披露していただきました。

クラウトムさんは数多くのテレビ番組でも活躍する方で、プロの技に会場は大きな歓声とコミカルな動きに笑みがこぼれていました。小さなお子さんからお年寄りまで約120名と大変多くの方に参加していただき、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。



## 糖尿病教室を開催しています

当院では、通院・入院中の患者様とご家族の方を対象に、糖尿病教室を開催しております。糖尿病と上手に付き合っていくためには、正しい知識を身につけることが大切です。同じ病気を持つ仲間と一緒に学んでみませんか？皆様のご参加をお待ちしております。（予約不要）

### 概要

【日 時】 毎月第1～第4週の木曜日（日程表参照）

●15:00～16:30（第1、2木曜）

●13:30～15:00（第3、4木曜）

【場 所】 外来2階 栄養相談室  
（形成外科外来の向かい側）



【内 容】 ◆VER.1 医師「糖尿病ってどんな病気？」  
看護師「病気の心構えとフットケア」  
管理栄養士「楽しく食べる方法」  
◆VER.2 管理栄養士「どんな食事がいいの？」  
薬剤師「薬と上手につきあう方法」  
臨床検査技師「自分を知ろう！」  
◇VER.1、2の2回受講にて1クールとなります

【その他】 糖尿病教室は保険適用となります

### 日程表

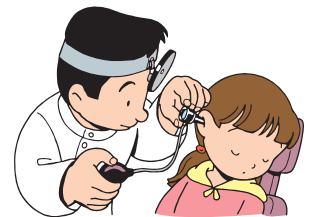
	時 間	Ver.1	Ver.2
9月	15:00～16:30	1日	8日
	13:00～15:00	15日	22日
10月	15:00～16:30	6日	13日
	13:00～15:00	20日	27日
11月	15:00～16:30		10日
	13:00～15:00	17日	24日
12月	15:00～16:30	1日	8日
	13:00～15:00	15日	22日
1月	15:00～16:30	5日	12日
	13:00～15:00	19日	26日
2月	15:00～16:30	2日	9日
	13:00～15:00	16日	23日
3月	15:00～16:30	1日	8日
	13:00～15:00	15日	22日



今日は耳鼻咽喉科の紹介と秋の花粉症についてお話をさせていただきます。耳鼻咽喉科は正式には、耳鼻咽・頭頸部外科といいます。耳、鼻、喉はもちろん、首から上の脳と目以外のすべての疾患を対象として診療しております。中耳炎や鼻炎、扁桃炎などの他に、甲状腺疾患、耳下腺や顎下腺などの唾液腺疾患、舌や口腔内の病変なども当科で診療することになります。聞こえにくさや鼻づまり、鼻水、声がかれ、飲み込みにくさ、めまい、首や顔の腫れや痛み、顔面神経麻痺などでお困りの際には、お気軽に当科にご相談ください。

当院の耳鼻咽喉科は月曜から金曜までの午前中（水曜は新患受付のみ）及び火、金曜の午後（予約のみ）に外来診察を行っております。また、月・水・金曜に手術、木曜の午後に甲状腺エコー検査や乳幼児聴力検査などの検査を行っております。

最上地域の耳鼻咽喉科数は山形県内でも少なく、当科も3名の医師で診療を行っております。そのため外来が混雑し、みなさんにご迷惑をお掛けしてしまいますこともあるかと思いますが、ご容赦のほどよろしくお願いします。



ところで、最近は季節にかかわらず、花粉症に悩まされておられる方も多いかと思えます。そこで、今回は秋の花粉症についてお話ししたいと思います。

秋の花粉症とは、夏から秋にかけて飛散する「ヨモギ」や「キク科のブタクサ」などの植物の花粉が原因となって、くしゃみ・鼻水などのアレルギー症状を起こす病気であり、季節性アレルギー性鼻炎とも呼ばれています。花粉症は徐々に増えてきており、現在、日本人の約25%が花粉症だと言われています。

症状としては、くしゃみ、鼻水、鼻づまりだけでなく、目の症状（かゆみ・涙・充血など）を伴う場合が多く、その他に喉のかゆみ、皮膚のかゆみ、下痢、熱っぽい感じなどの症状が現れることもあります。

花粉症などのアレルギーは、症状が悪化すると薬が効きづらくなります。しかし、軽いうちに薬を使い始めると、花粉の飛散量が多くなった時期でも症状をコントロールしやすく、そのシーズンの症状を軽くすることができます。毎年花粉症の症状に悩まされる方に関しては、症状が出始めてから薬を飲むのではなく、症状が出る前や軽いうち（花粉が飛び始める2週間くらい前）から治療を開始する「初期療法」をおすすめしています。

秋口に風邪をひいたと思って、ほったらかしていたら実は花粉症でしたということがあります。くしゃみや鼻水が止まらないと思ったら、一度耳鼻咽喉科を受診して花粉症かどうかを検査してみてください。適切な予防と治療で、秋口のつらい花粉症を乗り越えましょう。

## 主な花粉症の「花粉カレンダー」



秋の花粉症

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ハンノキ属												
スギ												
ヒノキ科												
ブタクサ属												
ヨモギ属												
セイタカアワダチソウ												
イラクサ科												
カナムグラ												

※「厚生省花粉症研究班 日本列島空中花粉調査データ集」(2000年) など参考



ブタクサ



ヨモギ

